

## 硬式野球部の投手コーチに就任

大阪電気通信大学(大阪府寝屋川市)硬式野球部の投手コーチに、ロケット、阪神などでリリーパー、クローザーとして活躍した元プロ野球選手の成本年秀氏が就任した。

成本氏は1992年にドラフト2位でロッテに入団。96年に30セーブを挙げ最優秀救援投手賞を獲得、2001年に阪神へ移籍し、同年に20セーブを挙げカムバック賞を受賞した。

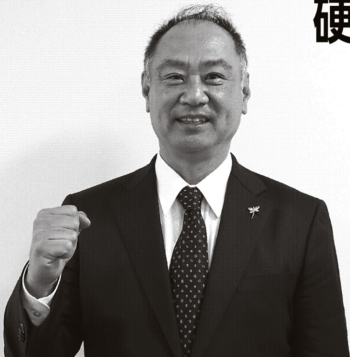
その後、ヤクルトを経て05年に現役を引退し、ヤクルトやロッテ、独立リーグなどでコーチを務め、指導者としての実績を積んできた。

同部は1962年に創部。2018年から21年11月まで投手コーチを現阪神・江草2軍投手コーチが務め、めきめきと力をつけた。22年には阪神大学野球春季リ



大阪電通大ナイン

グで創部初の1部昇格のキップを手にし、同年の秋季リーグでは4位の成績を修め1部残留を決めた。新コーチを迎えての来シーズンはリーグ優勝や全日本大学選手権出場を目標に掲げている。



新投手コーチに就任した成本年秀氏